

退職直前の小旅行

香川県中小企業団体中央会機関誌の2023年4月号で、当方は「定年を迎え、1年間だけ再雇用で現役を続行する所存」と書きました。その通りに、確かにこの4月で退職したのですが、完全リタイアできたかというとはそうではなく、諸般の事情により、今後は「特別契約教員」なる身分で、授業のみを担当し、週に1~3日出勤する形態になります。今回の話題は「退職直前の有給休暇の消化」です。

退職前に有給休暇を消化することは労働者の権利であるのは違いないのですが、諸般の事情により、全てとはなかなかいかないですね。当方の場合もそうで、2月中旬時点で3月末までのスケジュールを確認すると、授業がないにもかかわらず、学生支援部長職に関わる会議などが週に3~4日入っており、この時点までに残っている32日の日数を消化し切るのは困難であるのを覚えました。しかし、まったく取るのを諦めてしまうと、これもまた残念なので、会議が3つほど入っていますが、欠席を告げて、2月28日からの3日間を休暇に充てることにしました。

この休暇時に何をすべきでしょうか。うだうだ過ごすのも一つの選択肢ですが、当方は「毎日自宅を出発して、香川県内の離島を巡る小旅行」を行うことにしました。その目的は、①香川県内の未訪問の島に行く、②海外旅行に自分のカラダが耐えられるかの検証、です。つまり、当方の趣味の一つである「離島巡り」について、香川県内では岩黒島、櫃石島、手島、小手島が未訪問であり、ぜひこの機会にまとめて行ってみようと思立ったこと、そして、島を訪問すると、移動時や島内滞在時にそれなりに歩き回るので、脊柱管狭窄症の症状に悩まされ、これを最近、スクワットにより改善を図ろうとしている我が身が、現時点でどの程度までの負荷に耐えられるのか、見極めてみようと考えたわけです。

そこで3日間の旅程を立てたのですが、自宅の最寄駅から丸亀駅や坂出駅への移動に使用する切符は「岡山香川ワイドパス(¥3,500)」で、単純に高松駅~岡山駅を往復するだけでもほぼ元が取れる「神切符」です。そして、2月中は、丸亀市による「離島航路運賃無料キャンペーン」が開催されており、手島、小手島への運賃は無料(通常は丸亀港~手島が¥780)で、一方の岩黒島、櫃石島へは、琴参バスにて坂出より片道¥600を支払うことになります。そして、上記の4島の訪問は2日あればできるのですが、切符が3日間有効であるので、3日目は、小豆島経由で岡山に行くこととしました。様々な要素を勘案して立てた主要な旅程は以下の通りです。

1日目

- ・琴参バス 坂出駅/岩黒島/坂出駅
- ・備讃フェリー 丸亀港/小手島/丸亀港
- ・琴参バス 坂出駅/櫃石島/坂出駅

2日目

- ・備讃フェリー 丸亀港/手島/丸亀港

- ・本島汽船 丸亀港/本島
- ・六口丸海運 本島/児島港

3日目

- ・国際両備フェリー 高松港/池田港
- ・国際両備フェリー 土庄港/新岡山港
- ・岡電バス 新岡山港/岡山駅

まず1日目、天候は快晴、岩黒島へは瀬戸中央道に設けられたバス停よりエレベーターで降ります。島内をあらかた歩き、約1時間後のバスで坂出駅まで戻ります。その後、丸亀港まで移動して小手島に渡ります。この日は水曜であるので、旅客船での運行なのですが、無料キャンペーンのおかげで、定員70名が満席でした(ほとんどが高齢者で、そのうち半数が広島で下船しました)。小手島には約30分の滞在時間ですが、港付近に猫がたくさんいる以外、大した印象はありません。そして、再び、坂出駅より今度は櫃石島に向かい、島内を約1時間歩き回りました。この日は合計10kmほど歩き、くたくたです。

自宅に戻り、低周波治療器に掛かり、早めに就寝したのですが、2日目の寝起きは腰が痛く、駅まで歩き出すと、やはりしんどく、腰が伸びません。今日は大丈夫だろうかと朝から大いに懸念します。天候も雨がぼつぼつ降り始めています。丸亀港からこの日はフェリーで手島に渡りますが、船内はやはり高齢者でごった返していました。手島まではるばる2時間掛けて到達しましたが、とくに見るべきモノもなし、雨の中、約40分の滞在時間で折り返しました。これにて、香川県の(公共交通で行ける)離島はコンプリートしたわけで、帰りのフェリーでは、腰の状態、今後の雨の降り具合を勘案して、この後、本島に渡るかどうかを思案しましたが、結局、行かないことにしました。この日は合計5kmほど歩き、早めに自宅に戻り、まったりと休養に努めました。

3日目は、すでに切符の元は取ったので、よほど腰が痛いならキャンセルもできたのですが、幸いにだいぶ回復したので、最寄駅に向かいました。快晴の中、まず目指すのは池田港、乗船した十一こくさい丸は令和の新造船で、実にキレイで垢抜けており、特急普通車シートと同等で快適ですね。小豆島に渡って、土庄港へ移動し、その後、新岡山港からバスで岡山駅に出て、デミカツ丼を食し、無事、腰に支障を来さない状態で自宅に戻りました。この日は合計3kmほど歩き、3日間の総計は18kmとなり、そして、小旅行としても有意義な3日間でした。

また、強行軍のみではなく、適切な休養を挟むことにより、現時点の腰の状態でも、1週間程度の海外旅行には耐えられる目途も付き、実に喜ばしい限りです。後は、スクワットによる臀筋の強化を継続することですね。しかし、円安や燃油サーチャージの高騰により、自分の若かりし頃よりかなり割高になってしまった海外旅行費用が、再びあの頃の水準にまで下がる日は来るものなのでしょうか...



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

通常総会開催にあたっての留意点

4月に入り多くの組合では、決算書の作成や総会開催準備でお忙しい時期を迎えているかと存じます。通常総会開催にあたっての留意点及び事業年度終了からの事務手続きについてご紹介します。

○定足数について

総会は招集手続に従い、出席組合員が定足数（書面議決者及び委任状による代理人の出席を含む）を満たしてはじめて成立します。これは、総会の議決が有効になされるための前提条件です。

総会の定足数は、特別議決を要する事項については総組合員の「半数以上」の出席が法に規定されていますが、普通議決事項については特に定めはありません。しかし、多くの組合では、定款参考例に倣って半数以上の出席を定めていますので、それにしたがって定足数に達しているかどうかを確認する必要があります。

○議長について

議長は、総会開催ごとに、出席した組合員の中から選任します。また、公正な議事進行のため議長には議決権がなく（但し、選挙権は有する）、代理人をもって議決権を行使することも他の組合員の代理人になることもできませんが、普通議決事項において可否同数の場合は議長が決定権を行使することができます。

○議決権及び書面・代理人出席について

組合員は、出資の多寡、事業規模の大小等に関係なく、平等に1個（票）の議決権と役員選挙権を有します。また、組合員が総会に出席できない場合は、書面や代理人によって議決権、役員選挙権を行使することができます。ただし、書面または代理人による議決権及び役員選挙権の行使では次の点に留意してください。

- ・書面または代理人による権利の行使は、あらかじめ総会招集通知によって通知のあった事項に限られます。
- ・代理人の資格は、組合員の親族、使用人（代表権を有しない取締役を含む）または他の組合員に限られます。
- ・代理人は、代理権を証する書面（委任状）を組合に提出しなければ権利の行使はできません。
- ・代理人は、定款の規定以上の人数を代理することができません。（法定上限4人まで）

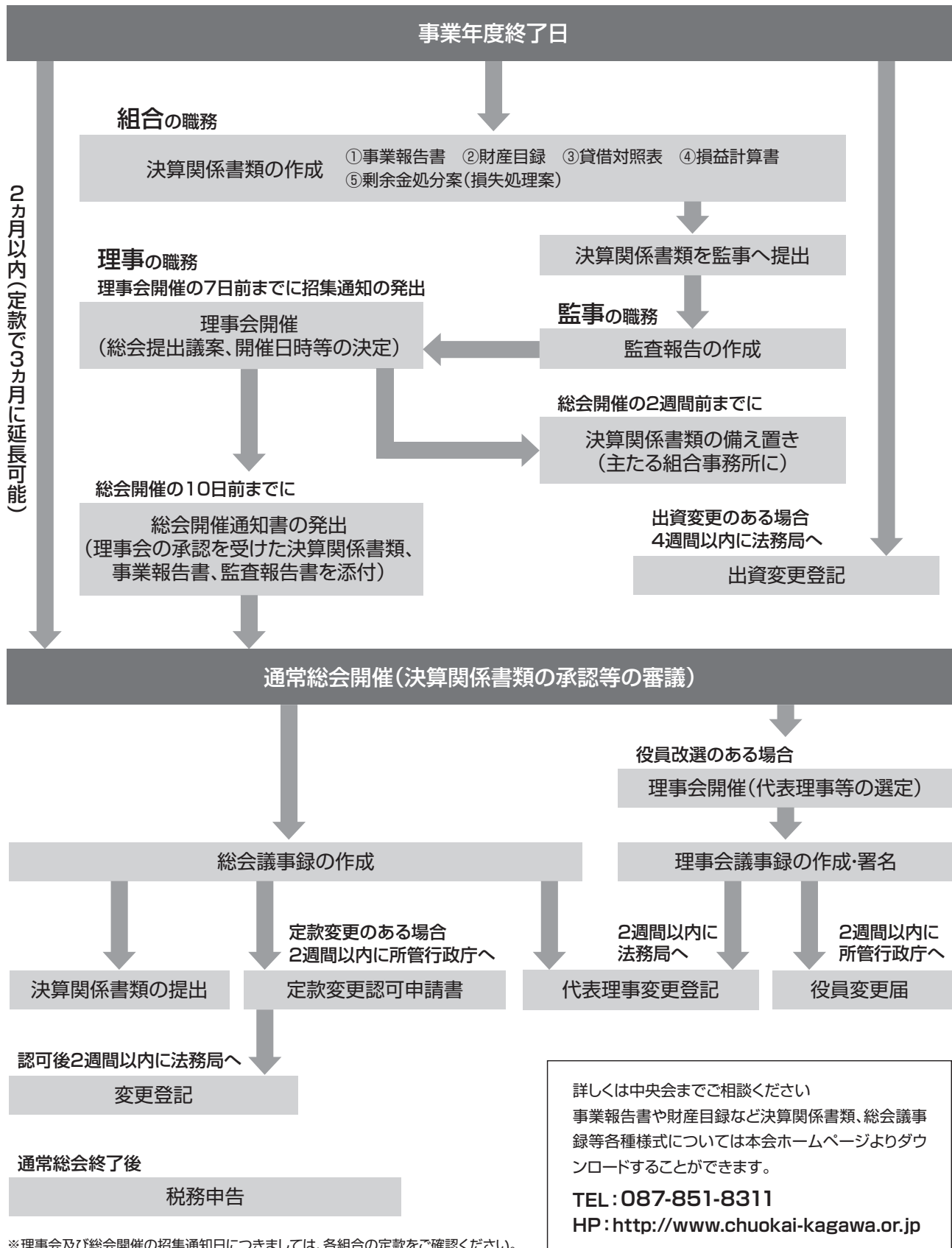
なお、「白紙委任状」は、組合員が総会に関して全般の責任を持つ理事長に、代理人の選任を一任したと解されますが、委任状として効力を発生させるには、総会までに白紙の箇所（代理権を行使する者の氏名）を補充しなければならないことに注意してください。

○議決事項・方法について

議決事項には、法の定めにより必ず総会で議決しなければならない「法定議決事項」と、定款及び理事会において総会の議決が必要と判断された「任意議決事項」があります。また、議決方法には組合組織の根本に影響を及ぼすため、特にその議決に慎重を期する必要がある「特別議決」と、特別議決以外の事項について用いられる「普通議決」があります。事業協同組合における議決方法及び議決事項等の一例については次のとおりです。

	議決の方法	議決事項	議決要件
法定議決事項	特別議決	定款の変更	総組合員の半数以上が出席し、その議決権の3分の2以上の多数による議決による。
		組合員の除名	
		組合の解散	
普通議決	普通議決	規約の設定、変更又は廃止	議決権数の過半数による。
		収支予算及び事業計画の設定又は変更	
		経費の賦課及び徴収の方法	
		決算関係書類の承認	
		役員改選	
任意議決事項	普通議決	借入金残高の最高限度	
		役員の報酬（理事と監事の別）	
		剰余金の配当	
		その他理事会において必要と認められた事項	

事務手続きフロー図



FROM青年部 1

「企業見学会&ランチミーティング」を開催

3月22日、香川県中小企業団体中央会青年部主催のもと「企業見学会&ランチミーティング」を実施しました。県内の高校生30名と青年部会員10名が参加しました。

この事業は、香川県内の高校生を対象に普段接する機会が少ない優れた技術を持つ中小企業の「会社・工場」を見学し、熱い思いをもった若手経営者や社員の考え方等に触れてもらうことで地元企業の仕事を身近に感じてもらい、地元企業で働くことを考えるきっかけになることを目的としています。

はじめにランチミーティングを行い、青年部会員と高校生が意見交換を行いました。

その後、建設用クレーン国内シェアNo.1の「株式会社タダノ志度工場」を訪問しました。工場見学や先輩社員からのキャリアトーク・パネルディスカッションがあり、実際の仕事内容や仕事のやりがいなどについてご説明いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

参加した高校生からは「見学を通して自分の知らない企業を知ることができた」「ランチミーティングでは世代の違う経営者の生の声が聞けて、とても良い経験になった」など好評を得ました。



▲開会挨拶を行う木村会長



▲ランチミーティングの様子



▲(株)タダノ志度工場へ向かう車内(十河直前会長)



▲(株)タダノ志度工場(工場見学説明)



▲(株)タダノ志度工場(キャリアトーク)



▲(株)タダノ志度工場(集合写真)

FROM青年部 2

四国ブロック会長会議に出席

3月9日、愛媛県松山市において令和5年度四国ブロック会長会議が開催され、木村会長が出席しました。

昨年11月に高知県において開催された全国講習会の振り返りや来年度以降の輪番制について協議しました。

その後の懇親会では終始和やかな雰囲気の中で四国各県の情報交換が行われました。



▲会場の様子

かがわ成長する企業大賞 について

県では、特徴的な製品やサービスの開発などの優れた取組みにより、成長を続けている中小企業を表彰する「かがわ成長する企業大賞」制度を実施しております。

この度、今年度の受賞企業3社を決定し、以下の日程で表彰式を行いました。

1. 「かがわ成長する企業大賞」受賞企業

ものづくり部門	FGROW JAPAN株式会社 (高松市、製造業)
商業・サービス部門	株式会社白洋舎 (高松市、サービス業)
奨励部門	建ロボテック株式会社 (木田郡三木町、業務用機械器具製造業)



右から、FGROW JAPAN ㈱ 船田代表取締役、県知事、
㈱白洋舎 鶴川代表取締役、建ロボテック ㈱ 眞部代表取締役

2. 表彰式

令和6年2月27日(火) 午前10時から

県庁本館11階 知事第三応接室

3. 受賞企業の概要

■FGROW JAPAN株式会社 旧:(株)敷水産

平成13年の創業以来、国内トップシェアの寿司ネタ用エビ加工を主力に、瀬戸内産の水産物を原料とした加工商品の付加価値向上に取り組んでいる。

大学と協働した「エビ殻の除去技術」等の開発や、D2Cブランド「海老乃家」では、大手出版社とのコラボも実現した。また、ハラル認証を取得し、積極的に販路を拡大することで、売上と自己資本率を向上させた。さらに、閉鎖循環型陸上養殖ユニットの導入・研究や、エビ殻を再利用した商品開発を進めるほか、工場内の電力は100%再生可能エネルギーを使用するなど、持続可能な取組みに挑戦している。

■株式会社白洋舎

昭和4年の創業以来、充実した店舗網に加え宅配サービスを強化することで他社との差別化を図っている。

平成30年には、ホテルのリネンサプライ事業を開始、令和4年には、医療介護施設向けにユニフォームのレンタルサービスも開始するなど新サービスの開発・提供にも積極的である。また、温水洗浄時のボイラー排水の熱回収を行うことで光熱費や二酸化炭素排出量の削減に取り組み、環境負荷の軽減にも努めている。さらに、高齢者向けのおそうじ代行サービスや職場体験の受入れなど地域活動にも貢献している。

■建ロボテック株式会社

平成25年の創業以来、「世界一ひとにやさしい現場を創る」を事業ミッションとし、建設現場の課題を解決する省力化・省人化ロボットを開発・提供するベンチャー企業である。製品発表後は、売上と従業員数も増加し、会社の規模拡大を図っている。

令和2年に製品化した「鉄筋結束トロボ」は、鉄筋を自動結束する高性能ロボットであり、国内外120か所以上の現場で稼働実績がある。また、令和5年6月には遠隔操作の実証実験にも成功し、人手不足の業界の救世主として期待されている。

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	変な家2～11の間取り図～	雨穴	飛鳥新社/1,650円
2	大ピンチずかん2	鈴木のりたけ	小学館/1,650円
3	おしごとそうだんセンター	ヨシタケシンスケ	集英社/1,760円
4	はじめての新NISA&iDeCo	頼藤太希 高山一恵	成美堂出版/1,430円
5	新版 科学がつきとめた「運のいい人」	中野信子	サンマーク/1,650円

香川県書店商業組合調べ

人手不足・人材確保の問題やそれに伴う人件費の上昇が、依然として多くの業種で収益力の足かせとなっており、主要3指標ともに悪化となった。

2024年2月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●人手不足、若い方がなかなか来ない。(惣菜) ●組合員の出荷量推移は前月対比55.3%、前年同月対比で93.3%(1月分)である。(調理食品) ●日本冷凍食品協会による12月の冷凍食品生産数量は昨対97.5%となり、2022年9月以降16か月連続で前年実績割れとなっている。カテゴリー別ではフライ揚げ物類が94.1%、フライ類以外の調理食品が98.4%、菓子類が106.6%となり、菓子類のみ前年を上回った。業態別では市販用が97.1%、業務用が98.1%と両業態共に前年を下回った。食料品の値上げが続いている。日本経済新聞によると3月の食品の値上げ品目が728品目であり、仕入金額の上昇分を製品価格に反映することが求められる。また、テレビや新聞等では春闘の話題が尽きない。値上げと賃上げへの対応が急務となっている。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●2月は寒暖差の激しい時期で寒い日も多かったが、記録的な高温の日もあり、不安定な市場となったが、すでにバーゲン時期も終わっている時期のため冬物防寒商品の需要には殆ど影響が無く終わった。皮革・合成皮革手袋については上向き気配もなく弱気は続いている。繊維製手袋についても価格帯は下がっており皮革ほどではないが悪化している。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●円安・物価高の影響が長期化しており、家具業界全体に低迷感が強い。株価の話題は明るい、消費には回っていないと感じる一方、当組合が推進している香川県産広葉樹利活用の家具づくりはSDGs森林再生に役立つ取り組みとして注目されており、より一層強化していく。(家具) ●住宅関連だけではなく、土木用材、りん木等の需要の落ち込みがひどく全国的に木材の流通が悪くなっている。(製材) ●諸物価の値上がりに伴い売上高も多少増加したが、経費(特に運送に係る経費)が増加し業況は悪化している。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●依然として動きが悪い。インキメーカーより4月から値上げの通達がありコロナ前から合計3回目の値上げになり更に収益が圧迫される。価格転嫁に応じてもらえるよう各社で願っているが現実には厳しい状況にある。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●業況は非常に悪い。柱にしてきた事業内容だけでは存続できなくなってきた。柱にしている事業から派生できる事業を収益の補填として動きだしている事業所も増えてきている。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●インボイスや電子帳簿保存法の対応は各社なんとか追い付いているようであるが、電子化の波は押し寄せており、社会保険や労働保険の申請、所得税等の納税、助成金の申請、ソフトのクラウド化等「DXの人材育成」が事務部門のみならず、生産及び技術部門においても養成が急がれる。地域のポリテクセンターやポリテクカレッジその他の外部支援機関にもご指導を仰ぎつつ、その波に乗らねばならない思いが各社強くなっている。(鍍金) ●県内建築鉄骨市況では、地場の設計見積りやゼネコンからの見積り依頼は依然として少ない。従って、県外物件・商社物件を受注して組合員数社で加工している状況である。一方、価格面では鋼材・副資材・葺工の値上げなどを単価に反映しなければならない。しかし、物件が少ない為、ゼネコンの指値要求もあるが組合員全体で阻止するために協力が必要である。また、図面の決定遅れ・工程のずれなど課題は山積している。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●工事はあるが、工程の山谷で手待ちや人材不足が生じている。従業員は外国人が増えてきており、技術不足という面も問題になってきている。(造船)
	その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●注文は徐々に増加していると思われる。特に竹うちわの問い合わせが多くなっている。(団扇) ●徐々にではあるがインバウンドが回復し2月に催した栗林公園での「香川の漆器まつり」は久しぶりに賑わった。(漆器)
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●39年ぶりの株価の高値更新の経済界と逆に一般家庭の経済はあまり活発ではない。(青果物) ●2月、3月と高松市内の組合員のSSが1カ所ずつ閉店となった。丸亀市では全石連のガソリンのギフト券が全世界に配布開始となったが、非組合員の安売り会社がギフト券の利用ができない為、価格の値下げを行っており、組合員の利益悪化が懸念される。激変緩和措置の今後を注視する必要がある。(石油) ●近隣商店街の街の電気屋さん2店廃業(閉店)した。これは全国的にも発生している状況で、昨上半期の全国での組合員脱退は130店ほどであった。このことは町の電気店では儲からない、だから跡継ぎをしない、してくれないにつながっている。家電各社は家電から方向を変えて行っている。我々はそれに追従して行かないと生き残れない。しかし、様々な法令への対処で手が回ってない、回らない。年度末で官庁・地場法人から引き合いが増えているが家電関係は少なく、IT関連の問い合わせとなっている。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的緩やかな日が多く、重衣料をはじめ季節関連商品、冬物セールは動きが悪く、衣料品、小物雑貨を中心に売上にダメージを受ける店が多く見られた。それでも、物販店においては総じて前年以上の数字が作れた店が多かったことは幸い。春節のシーズンであり、多くの中国人観光客も訪れたが、中国国内の経済状況が悪く、また、日本への団体客の動きが充分でないことから、インバウンド客を含む通行量の前年比では従来同様の伸び(105~110%)であり、5類以降後では、特段大幅な伸びということではない。一方2月後半は百貨店で人気の催事が開催され、月前半以上の伸びをもって通行量は増える傾向にあった。コロナ禍以前は日常的に外出していた高齢層もコロナ禍を経て、行動様式が変容(必要な事以外は外出に躊躇)した人もある程度いると思われ、若い層に比べてやはり高齢層の返りが鈍いよう(コロナ禍を通し、更に加齢が進んだことも一因)に感じている。3月にはJR高松駅の駅ビルが増床オープンとなり、それなりの集客が予想され、商店街も通行量や売上には若干のダメージが出るものと思われ推移を見守る必要がある。将来的には、サンポート地区と中央商店街地区との間で回遊性が形成され、エリア全体での魅力が向上し、他都市との競争に優位性が見い出せるようになることが望まれる。商店街でも昨年末から今春に向けて空き店舗が埋まってきており、クリニック、飲食店、サービス業店舗、ブランド買取店等の新規出店が続いていることから、一段と賑わいが高まるものと期待している。(高松市①)

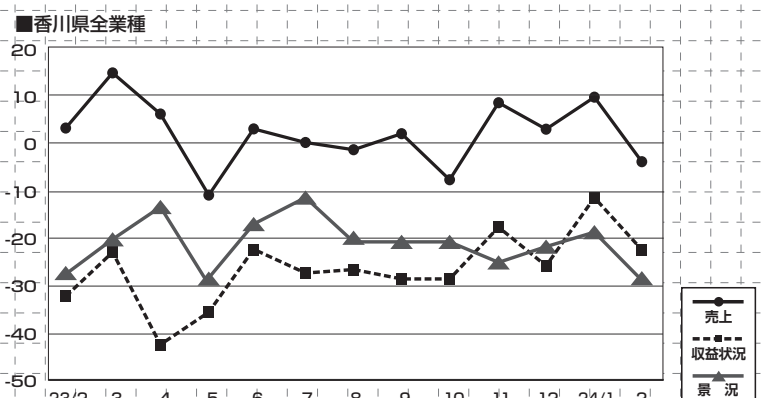
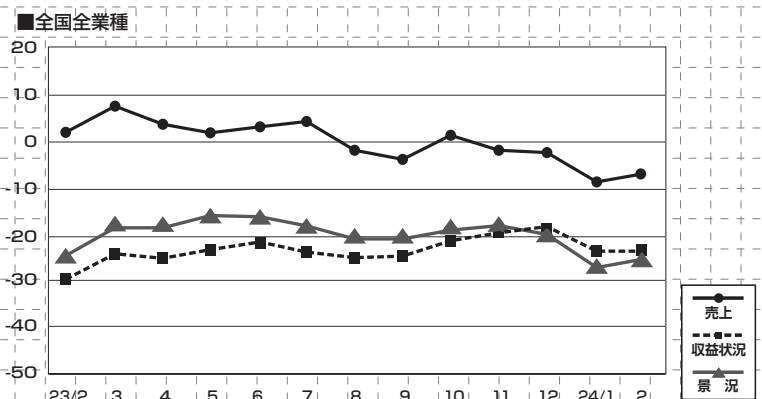
2月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-2.1ポイントで前月調査の10.4ポイントから12.5ポイントの悪化、収益DI値は-22.9ポイントで前月調査の-10.4ポイントから12.5ポイントの悪化、景況DI値は-29.2ポイントで前月調査の-18.8ポイントから10.4ポイントの悪化となった。

非製造業	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ●相変わらず物価高騰の話題になるが、慣れてきた感がある。2月に入っても天候に左右される程度で人の通りはインバウンド効果もあり1月に比べ激減しているようでもなかった。経済面で明るい話題が聞かれるようになってきたが、小規模事業者は材料の高騰・人手不足等々抱える課題が多いうえにインボイスをはじめ煩雑な事務作業が増えたことは更なる負担となっている。(高松市◎) ●寒暖差の激しい月で、特に高齢者は外出を控えている感があり、街は毎日静まりかえっていた。店主も高齢化が進み、体の不調で臨時休業する店も見受けられた。3連休が2度あって、県外からの観光客は多く、近隣のホテルや飲食店は恩恵を受けていたようだが、スタッフの不足に苦心している様子だった。(丸亀市) ●過当競争なのか、地区郊外の好立地コンビニエンスストアの閉店が数件見られた。新規開店は見られない。2月は、例年にもれず、景気閑散期で耐えるのみ。組合員の業況は、おそらく同感を得るかと思われる。運送業者に話を聞くと、物量から景況が想像できるが集荷、配達とも減少していて、ドライバーの給料も下降している。(観音寺市)
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ●売上数字は全体に上がっているが、電力その他の値上げでやむなくの値上げが多く、見かけとして単価アップで売上金額は微増であるが、人数も減少しており、また収益性は大幅に低くなっている。5月からオリーブオイルが50%から80%の値上げをするなど、実際そうなのであるが、便乗に感じる食材の価格改定が想定される。好調といわれる海外からの顧客も、団体から個人に移り、なおかつ、ハイクラス化、激安化の2極化の傾向が強くなり、この2月も好調なところとそうでないところの差が激しくなっている。依然と先行き不安な状態である。(旅館) ●組合員連携の事業について模索している。(情報) ●この度、厚生労働省より「全国美容所状況」が発表になり、全国美容所数269,889店(前年比5,666店増)従業美容師数571,810人(前年比10,335人増)香川県は2,549店(前年比71店増)従業美容師数4,205人(前年比79人増)と依然として美容所、美容師数ともに増加傾向が留まらずオーバーストア状況が続き競争激化に歯止めがかからない。(美容)
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ●香川県における有効求人倍率は、高い水準を維持しているにも関わらず、相変わらず、建設業(特に土木)の入職者(希望者)は低い位置を維持してしまっている。公共工事設計労務単価は、12年連続の上昇となっているが、今回の大幅な上昇は、来年度からの時間外労働の上限規制に対応するための必要経費を反映している側面もあり、厳しい状況は変わっていないように感じる。(総合建設) ●四国全体に物件数の減少により、元請、下請ともに安値受注が懸念される。(板金工事)
	運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年1月の輸送実績は、対前年同月比で営業収入117.4%と増加し、輸送人員は95.9%と減少した。(タクシー) ●令和6年1月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、△0.3%となり、対前月比では△13.5%となった。また、1月分利用車両数の対前年同月比は、△0.5%となった。(トラック) ●公益財団法人日本トラック協会が2月14日発表のトラック運送業界の景況感(令和5年10月～12月期)によると、業界の景況感は、輸送数量、運賃・料金の水準、経常利益等が改善したことを反映し、業界の景況感は△17.7(前回△33.5)と15.8ポイント改善した。来期の見通しは輸送数量等が改善する見込みを反映して、△15.0(今回△17.7)と2.7ポイント改善の見込みである。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品	☀️	☁️	☁️
	繊維工業	☔️	☁️	☔️
	木材・木製品	☔️	☔️	☔️
	印刷	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石製品	☔️	☔️	☁️
	鉄鋼・金属製品	☔️	☔️	☔️
	輸送用機器	☀️	☁️	☁️
	その他	☔️	☔️	☔️
非製造業	卸売業	☁️	☁️	☁️
	小売業	☔️	☔️	☔️
	商店街	☔️	☔️	☔️
	サービス業	☔️	☁️	☔️
	建設業	☔️	☁️	☔️
	運輸業	☁️	☔️	☔️
	その他	☁️	☁️	☁️

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuukai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED…Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

(お客さまライフステージ)



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金
高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫
高松支店
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用 いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1から3のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高が前6年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3か月以上1年1か月未満の場合等は、最近1か月間の売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高(業歴6か月未満の場合は、開業から最近1か月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高 3.債務負担が重くなっている方(注1)		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年) (注2)	国民生活事業	6,000万円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.5% 4年目以降:基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	4億円以内の部分	融資後3年目まで:基準利率-0.5% 4年目以降:基準利率
		4億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注1)一定の要件を満たす必要があります。要件の詳細は、お近くの支店にお問い合わせください。

(注2)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。

〈支店窓口〉 **株式会社 日本政策金融公庫 高松支店**
URL : <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

令和6年能登半島地震に係る災害義援金のお礼とご報告

このたびの能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

被災された石川県下の中小企業及び組合並びに関係者の方々への支援を目的に、本会にて義援金の募集を行いましたところ、87組合より274万円ものご支援を賜りました。

お預かりいたしました義援金は、2月29日に全国中小企業団体中央会にお届けいたしました。全国中央会では取りまとめの上、3月11日に、全国中央会森会長から被災地の石川県中央会米沢会長へ義援金1億3千万円の目録が直接手渡されました。米沢会長からは「皆様方の心温まるご厚志に心よりお礼申し上げますとともに、これから復興に向けて力強く頑張ってまいります」とのことでした。

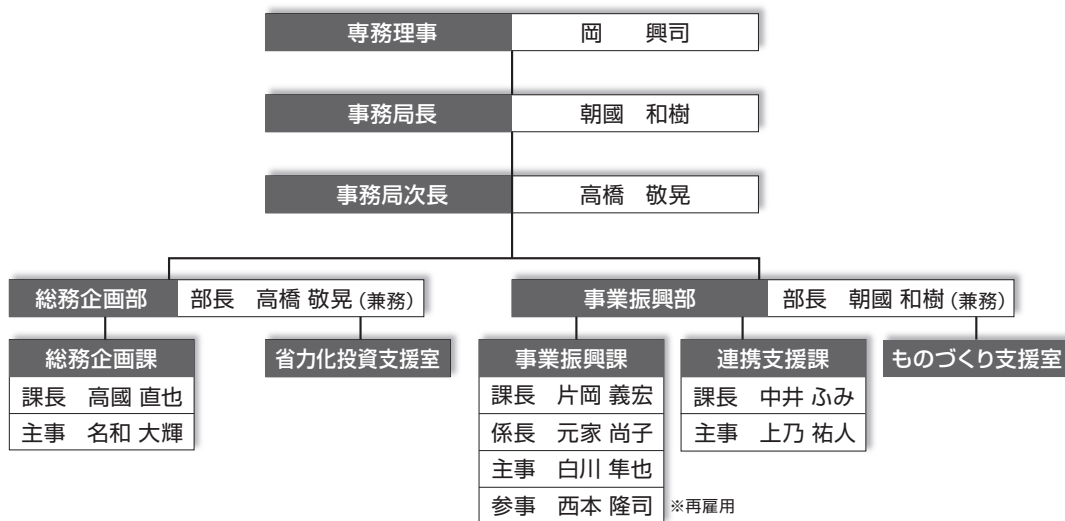
皆様方からのご厚意に衷心より感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

香川県中小企業団体中央会
会長 国東照正

香川県中央会 令和6年度事務局機構図

香川県中小企業団体中央会事務局・機構図

(令和6年4月1日現在)



新人紹介



総務企画部主事 名和 大輝

4月から中央会でお世話になります、名和と申します。総務、事務としての経験はゼロに近いですが、皆さんに教えていただきながら経験を積み、成長していきたいと思っています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞこれからよろしくお願いします。

また、下記事務所において「ものづくり支援室」を設置しています。
〒760-0071 香川県高松市藤塚町3丁目3-15 太洋物産ビル2階
TEL: 087-802-3722 FAX: 087-802-3723